

環境活動レポート

2022年度(2022年10月～2023年9月)



大栄産業株式会社

×

Eco Action 21

環境経営方針

基本理念

限りある資源であり私たちの生命の源である地球環境を守り、環境問題に積極的に取り組み、循環型社会の構築に努め、環境調和型産業を目標とし、自然環境を保全し、自然環境との共生を目指します。

基本方針

環境調和型産業となるため、省エネルギー、省資源、リサイクルの推進、廃棄物の発生抑制、及び有害物の適正処理、環境汚染の予防等、環境負荷の低減に努めるとともに経営の健全化、企業の成長を図り、以下の活動項目に継続的に取り組み改善していきます。

1. 当社の主な業務である、産業廃棄物収集運搬業務、産業廃棄物中間処理業務、砕石製造販売運搬業務において、環境経営活動の継続的改善を推進するため、環境経営目標・環境経営計画を策定し取り組みます。
2. 環境関連法律・規制・条例その他の公的基準を遵守し、さらに技術的、経済的に可能な範囲で自主基準を制定し、環境保全に取り組みます。
3. 環境に与える影響を低減するため、以下の活動に取り組みます。
 - ①二酸化炭素排出量削減のため、電力・化石燃料の効率的使用を図り、使用量の削減に努めます。
 - ②事業活動で発生する廃棄物は、発生を抑制するとともに、再使用の向上に努めます。
 - ③節水に努めます。
 - ④環境経営によるコスト削減、業務改善、人材育成、新事業開発を進め、企業の成長を図ります。
4. 環境経営方針は全社員に周知するとともに、社内外環境教育を定期的積極的に実施受講し、従業員の環境に関する理解と意識・能力の向上を図ります。
5. 当社の環境経営方針・活動は社内外に公表し、社員、協力業者と協力して推進し、地域社会とのコミュニケーションを図り、社員、協力業者及び地域とともに循環型社会の構築に努めます。

制定日：2020年12月1日

大栄産業株式会社

代表取締役

渡辺栄志

目次

1	会社概要	1
2	許可内容	2
3	許可施設の概要と処理実績	3
4	エコアクション21推進体制	4
5	環境経営目標と実績	5
6	環境経営計画の取り組みと評価	6
7	環境関連法規制の遵守	7
8	代表者による全体評価と見直しの結果	8

1 会社概要

- | | |
|-----------------------|---|
| 1. 事業所名 | 大栄産業株式会社 |
| 2. 代表者 | 代表取締役 渡辺栄志 |
| 3. 所在地 | 【本社】
〒377-1526
群馬県吾妻郡嬭恋村大字三原875番地
【リサイクルセンター(工場)】
〒377-1613
群馬県吾妻郡嬭恋村大字大笹2423-20 |
| 4. 設立年月日 | 昭和53年11月22日 |
| 5. 資本金 | 1,000万円 |
| 6. 従業員 | 5名 |
| 7. 売上高 | 8,663万円 |
| 8. 事業内容 | 産業廃棄物処理業、採石業 |
| 9. 事業活動 | ①産業廃棄物の収集・運搬
②産業廃棄物の中間処理
③再生砕石の製造及び販売
④砕石の採取、製造及び販売
⑤その他 |
| 10. 対象範囲
(認証・登録範囲) | 大栄産業株式会社 全組織・全活動 |
| 11. 環境管理責任者 | 渡辺正美 |
| 12. 担当者(事務局) | 小林孝弘 |
| 13. 連絡先(本社) | TEL : 0279-97-2511
FAX : 0279-97-3328 |

2 許可内容

1. 産業廃棄物収集運搬業許可

【群馬県】

- ◆許可年月日 令和3年3月16日 ◆許可有効年月日 令和8年3月15日
- ◆許可番号 01000126270
- ◆事業計画の概要 排出事業者が処分の委託契約をした処分先まで産業廃棄物を収集運搬する。
- ◆事業の範囲
 - ・事業の区分 収集、運搬（積替え保管を除く）
 - ・廃棄物の種類 ①廃プラスチック類、②木くず、③ゴムくず、④金属くず、⑤ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、⑥がれき類
①、⑤、⑥については、石綿含有産業廃棄物を含む
①、④、⑤については、水銀使用製品産業廃棄物を含む

【長野県】

- ◆許可年月日 令和4年2月2日 ◆許可有効年月日 令和9年2月1日
- ◆許可番号 2009126270
- ◆事業計画の概要 長野県内の建設現場から発生する産業廃棄物を、弊社中間処理施設や群馬県内の中間処理施設に運搬する。
- ◆事業の範囲
 - ・事業の区分 収集、運搬（積替え保管を除く）
 - ・廃棄物の種類 ①廃プラスチック類、②木くず、③ゴムくず、④金属くず、⑤ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、⑥がれき類

2. 産業廃棄物処分業許可

【群馬県】

- ◆許可年月日 令和3年3月24日 ◆許可有効年月日 令和8年3月23日
- ◆許可番号 01020126270 ◆事業の区分 中間処理（破碎）
- ◆事業計画の概要 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類を破碎し、再生砕石を生産・売却する。
- ◆廃棄物の種類 ①ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、②がれき類
- ◆処理能力 265t/日 ◆保管面積 2,500㎡ ◆保管容量 2,392㎡

3. 採石業者登録

- ◆登録番号 群馬県採石登録第297号
- ◆登録年月日 昭和54年3月22日

4. 砂利採取業者登録

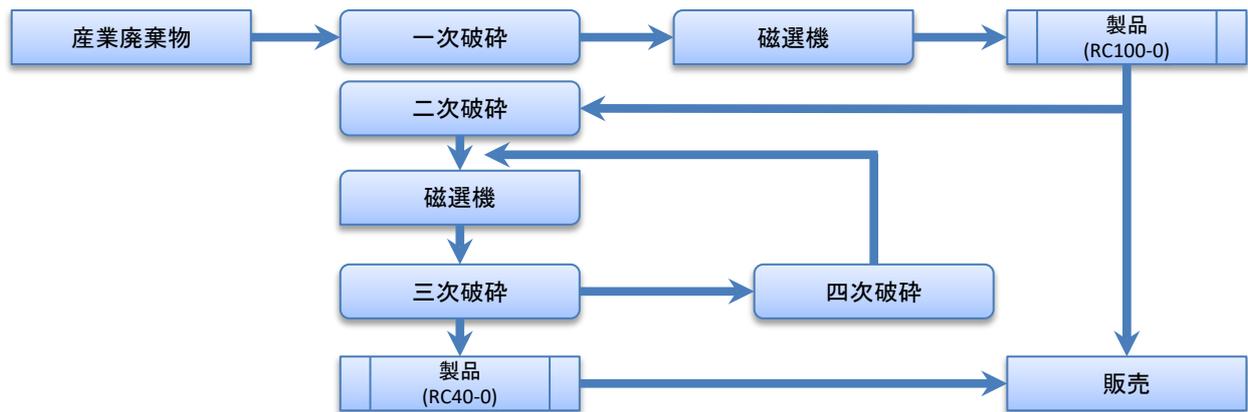
- ◆登録番号 群馬第399号
- ◆登録年月日 平成2年3月27日

3 許可施設の概要と処理実績

1. 車両及び施設

No.	種類	仕様	数量	No.	種類	仕様	数量
1	収集運搬車両 碎石運搬車両	10tダンプトラック	3台	4	バックホウ	0.7m3	2台
2	破砕機	ジョークラッシャー インパクトクラッシャー	3台 1台	5	ホイローダー	3.4m3	1台
3	磁選機	永磁式	2台	6	トラックスケール	40t	1台

2. 処理工程図



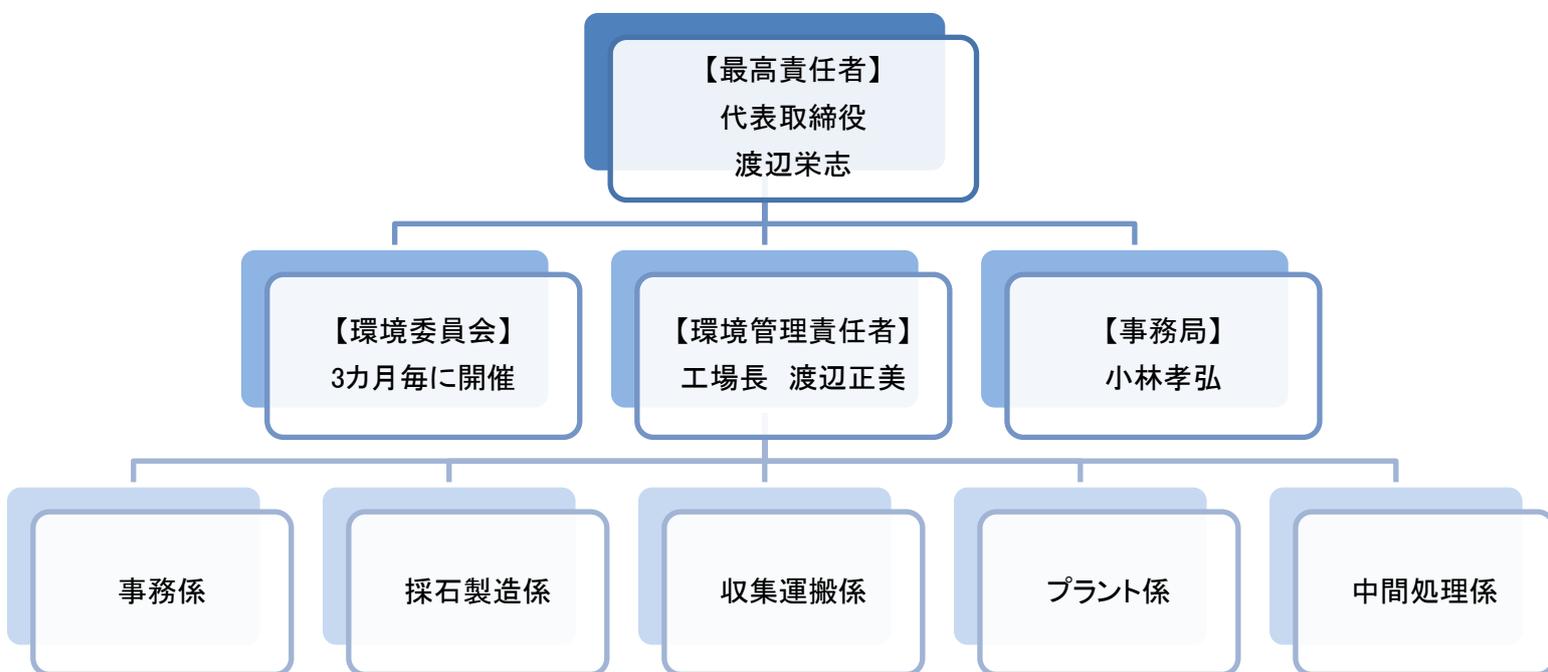
3. 受託した産業廃棄物の処理量

年度	品目	収集運搬	中間処理(再資源化)
33期(2010年度)	がれき類	709.37 t	5,138.45 t
34期(2011年度)	がれき類	1,414.24 t	9,227.29 t
	木くず	32.45 t	—
	廃石膏ボード*	5.00 t	—
	金属くず	4.59 t	—
	ガラス・陶磁器くず	3.50 t	—
35期(2012年度)	がれき類	2,819.80 t	14,795.89 t
	ガラス・陶磁器くず	—	2.34 t
36期(2013年度)	がれき類	1,276.09 t	12,660.41 t
37期(2014年度)	がれき類	4,361.13 t	11,642.83 t
38期(2015年度)	がれき類	1,124.85 t	7,027.42 t
	ガラス・陶磁器くず	—	0.18 t
39期(2016年度)	がれき類	760.69 t	7,175.96 t
40期(2017年度)	がれき類	1,496.72 t	8,104.49 t
41期(2018年度)	がれき類	1,118.84 t	11,081.56 t
42期(2019年度)	がれき類	5,041.14 t	14,962.87 t
43期(2020年度)	がれき類	5,897.20 t	13,758.82 t
44期(2021年度)	がれき類	5,224.29 t	12,271.30 t
45期(2022年度)	がれき類	3,836.10 t	12,814.73 t

4. 産業廃棄物処理料金

廃棄物の種類、数量、形状、運搬距離等により個別にお見積り致します。

4 エコアクション21推進体制



職名	役割
最高責任者	<p>【代表取締役 渡辺 栄志】</p> <p>①環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。</p> <p>②エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源(人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む)を準備する。</p> <p>③環境経営方針を制定する。</p> <p>④エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境経営方針・環境経営目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。</p>
環境管理責任者	<p>【渡辺 正美】</p> <p>①エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。</p> <p>②エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。</p>
事務局	<p>【小林 孝弘】</p> <p>事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。</p>
環境委員会	<p>最高責任者・環境管理責任者・事務局・各担当で構成し、環境管理責任者が召集する。環境経営目標の設定、環境経営計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。</p>

5 環境経営目標と実績

当社におけるサードステージ42期（2019年10月1日～2020年9月30日）の環境負荷を基準としたフォースステージ43～45期の目標を定め活動を開始しました。

環境経営目標・実績は下表のとおりです。

No.	環境経営目標	基準値	一昨年度	昨年度	今年度目標		環境経営計画 実施事項
		42期 (2019年度)	43期 (2020年度)	44期 (2021年度)	45期 (2022年度)		
		実績	実績	実績	目標	実績	
1	売り上げ100万円 当り二酸化炭素 排出量の削減 (kg-CO2/百万円)	1,397.71	1,312.78 6.08%削減	1,310.82 6.22%削減	42期に 対して 7%削減 [8%削減]	1,591.49 【13.86%増加】	①空調温度の適正化(適正温度表示) ②照明等の電源不要時OFFを推進 ③エアコン清掃の実施 ④電力、軽油、ガソリン量等の集計 ⑤目標達成状況・活動進捗状況確認
2	売り上げ100万円 当り廃棄物の削減 (kg/百万円)	0.19129	0.14253 25.49%削減	0.23762 24.22%増加	42期に 対して 26%削減 [27%削減]	0.30290 【58.34%増加】	①分別ルールの徹底 ②廃棄物置場の整備 ③廃棄物排出量の集計 ④裏紙使用ルールの徹底 ⑤目標達成状況・活動進捗状況確認
3	売り上げ100万円 当り水資源投入量 の削減 (m ³ /百万円)	0.05286	0.03734 29.37%削減	0.04972 5.94%削減	42期に 対して 30%削減 [31%削減]	0.082 【55.13%増加】	①節水表示 ②メーターの設置 ③毎月のメーターを集計する ④目標達成状況・活動進捗状況確認
4	販売製品(再生砕石) の品質管理を行う	—	—	—	管理の 徹底	管理の 徹底	①排出事業者との契約は全て個別契約 ②産廃の受入検査を実施 ③法規制等で定められた検査を実施 ④年2回定期的に製品試験を実施 ⑤実施状況確認
5	化学物質取扱及び 管理の徹底	—	管理の 徹底	管理の 徹底	管理の 徹底	管理の 徹底	①取扱商品の把握 ②購入量の把握 ③SDSの入手 ④取扱商品一覧表の作成
6	産業廃棄物処理量(t) 当り軽油量の削減 (L/産廃処理量t)	4.39404	5.68341 29.34%増加	4.6145 5.02%増加	42期に 対して 1%削減 [2%削減]	4.02717 【8.35%削減】	①毎月のメーター・軽油量の集計 ②廃棄物処理量の集計 ③集計結果の入力・掲示 ④エコドライブ推進ステッカーの表示 ⑤エコドライブ推進 ⑥社用車の点検・整備 ⑦目標達成状況・活動進捗状況確認
7	社会貢献活動の実施	2回	2回	2回	社会貢献 活動を 年2回以上 実施する	2回	①社会貢献活動の実施 ②実施記録の作成 ③実施状況確認

※赤字は見直し(修正)箇所、[]内は見直し前(修正前)の数値。

◆ 2019年度(2019年10月～2020年9月) 二酸化炭素総排出量 177,258 [181,223] kg-CO2

◆ 2020年度(2020年10月～2021年9月) 二酸化炭素総排出量 209,270kg-CO2

◆ 2021年度(2021年10月～2022年9月) 二酸化炭素総排出量 151,426kg-CO2

◆ 2022年度(2022年10月～2023年9月) 二酸化炭素総排出量 137,871kg-CO2

※購入電力の二酸化炭素排出係数には、0.441[0.505]kg-CO2/kWhを使用しています。

6 環境経営計画の取り組みと評価

42期と45期（2022年10月～2023年9月）の取り組み、実績を比較・評価しています。

No.	活動計画・達成状況	取り組み結果の評価	次年度の取組内容
1	売り上げ100万円当り二酸化炭素排出量の削減 【目標】 42期に対し、 7%削減 目標の達成状況：13.86%増加 結果：未達成【×】	計画どおり活動し、二酸化炭素排出量は42期の実績177,258.055に対し、137,871.02と39,387.035kg-CO2削減できた。 しかし、31.69%売り上げが減少したため売り上げ100万円当り二酸化炭素排出量は13.86%増加し、目標を達成できなかった。	目標を見直し、「45期に対し、1%削減」に取り組む。
2	売り上げ100万円当り廃棄物の削減 【目標】 42期に対し、 26%削減 目標の達成状況：58.34%増加 結果：未達成【×】	計画どおり活動したが、事務所・倉庫の片付け、プラント来場者による可燃ごみの持ち込み等により増加し、42期の実績24.26に対し、26.24と1.98kg増加した。また、31.69%売り上げが減少したため売り上げ100万円当り廃棄物は58.34%増加し、目標を達成できなかった。	目標を見直し、「45期に対し、1%削減」に取り組む。
3	売り上げ100万円当り水資源投入量の削減 【目標】 42期に対し、 30%削減 目標の達成状況：55.13%増加 結果：未達成【×】	計画どおり活動したが、水道ポンプのメンテナンス等により使用量が増加し、42期の実績6.704に対し、7.104と0.4m3増加した。また、31.69%売り上げが減少したため売り上げ100万円当り水資源投入量は55.13%増加し、目標を達成できなかった。	目標を見直し、「45期に対し、1%削減」に取り組む。
4	販売製品(再生砕石)の品質管理を行う 【目標】 管理の徹底 目標の達成状況：計画どおり管理 結果：達成【○】	計画どおり品質管理を徹底し、目標を達成できた。排出事業者との契約は、全て個別契約とし、産業廃棄物の受入時には混入物などが無いか検査を実施した。また、県条例で定められた環境測定等を年1回実施、製品に関する試験を年2回定期的に実施した。	次年度も販売製品(再生砕石)の品質管理を徹底する。
5	化学物質取扱及び管理の徹底 【目標】 管理の徹底 目標の達成状況：計画どおり管理 結果：達成【○】	計画どおり管理を徹底し、目標を達成できた。プラントで使用するディーゼルエンジン油、グリース、冷却液のSDSを取り寄せ安全性を確認した。また、新たに管理が必要な製品の取り扱いはなかった。	次年度も化学物質の取扱及び管理を徹底する。
6	産業廃棄物処理量(t)当り軽油量の削減 【目標】 42期に対し、 1%削減 目標の達成状況：8.35%減少 結果：達成【◎】	計画どおり活動し、軽油量は、42期の実績14,962.87に対し、12,814.73と2,148.14l削減した。産業廃棄物処理量は約14%減少したが、産業廃棄物処理量(t)当り軽油量は、8.35%減少し、目標を達成できた。	目標を見直し、「45期に対し、1%削減」に取り組む。
7	社会貢献活動の実施 【目標】 社会貢献活動を年2回以上実施する 目標の達成状況：2回実施 結果：達成【○】	計画どおり活動し、目標を達成できた。令和5年4月と9月に孺恋村地内の不法投棄防止パトロールを実施した。実施内容及び結果等は「活動実績報告書」を作成、(公社)群馬県環境資源創生協会へ提出し、群馬県等にも報告された。	次年度も社会貢献活動を年2回以上実施する。

7 環境関連法規制の遵守

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

No.	法規制等の名称	遵守事項	遵守状況
1	大気汚染防止法	一般粉じん発生施設設置届	遵法
2	特定工場における公害防止組織の整備に関する法律	公害防止管理者選任届	遵法
3	自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法	窒素酸化物対策地域 粒子状物質対策地域	遵法
4	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物保管基準 産業廃棄物の収集、運搬、処分等の委託基準 産業廃棄物管理票の交付・保存 産業廃棄物処理業の許可 技術管理者の選任 投棄禁止 焼却禁止	遵法
5	特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律	特定特殊自動車(オフロード車)基準適合表示	遵法
6	群馬県廃棄物処理施設の構造及び維持管理に関する基準	中間処理施設の構造等に関する基準 中間処理施設の維持管理等に関する共通の基準 中間処理施設の維持管理等に関する個別の基準 搬入路等の構造及び維持管理等に関する基準 作業時間 記録等の保存と公開 事故等の措置 処理能力 技術管理者 環境測定の方法 地球温暖化対策	遵法

2. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2023年9月26日の環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。

なお、関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありません。

8 代表者による全体評価と見直しの結果

1. 代表者による全体評価

①環境経営システムが有効に機能しているか

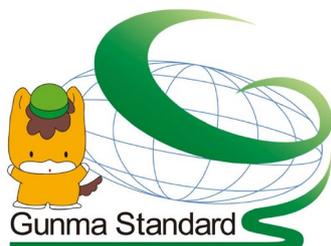
環境マネジメントシステムが構築でき、成果として表れている。
今後も環境管理責任者を中心にシステムが定着するよう計画どおり実施してほしい。
環境経営システムは、有効に機能している。

②環境への取組は適切に実施されているか

サードステージ同様、「全員参加」を合言葉に、ほぼ計画どおり適切に実施できている。
しかし、目標7項目に対し、3項目が達成できなかった。
次年度は目標の見直しを行い、全項目達成できるよう従業員一人一人がエコ活動に取り組む。

2. 環境経営方針等の見直し

No.	項目	変更の必要性
1	環境経営方針	無
2	環境経営目標・環境経営計画	有
3	環境経営システム	無



認定書番号 第 180239 号
第 1 期 認定 事業者

大栄産業株式会社

〒377-1526 群馬県吾妻郡嬭恋村大字三原875番地
TEL 0279-97-2511 FAX 0279-97-3328

発行:2023年12月1日 (第13版)